

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
森林整備に不可欠な地域活動を支援することにより、森林への注目度を向上させるとともに、立ち遅れている森林の整備を推進しようと考えたから。(時同じくして国庫支出の事業が開始したから)	各団体に森林施業計画に基づき、着実に森林整備が実行されている。 また、交付団体など森林所有者自らがおこなう森林保全管理活動が定着しつつある。	特になし

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がある (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？ また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？ また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	H18までの時限制度のため現状を維持する。 上村南信濃村との合併により積算基礎森林が増加したが、対象行為の確認作業の一元化など効率良く行うことで事務の増加を防ぐ。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	森林施業計画に基づく森林整備面積の実績管理と把握

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	2- その他、必要が生じたとき
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	各団体が所有する山林の状況(境界確認、生育状況)を5ヶ年で実施させた。		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	